

【ヒューマンリソシア調査】

「独自推計」世界のIT技術者は約2,137万人、年3.35%増 「92カ国をデータで見るITエンジニアレポート vol.1」発表

～存在感高まるIT大国の米・中・印と、注目の北欧諸国をはじめとしたヨーロッパ地域～

ヒューマンホールディングス株式会社の事業子会社で人材サービス事業を運営するヒューマンリソシア株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：御旅屋 貢、以下「当社」）はこのたび、世界のITエンジニアについての調査結果を、「92カ国をデータで見るITエンジニアレポート vol.1 世界各国のIT技術者数まとめ」として発表しました。

本レポートでは、各国の統計データなどをベースとした独自分析により、世界92カ国のIT技術者数は2,136万5千人、IT技術者数の増加率は年間約3.35%と推計。IT技術者数では、米国、中国、インドといったIT大国に加え、北ヨーロッパ諸国をはじめとしたヨーロッパ地域の存在感が際立つ結果となりました。一方日本は、IT技術者数においては世界第4位であるものの、IT技術者数の伸び率は27位に留まる結果となりました。

【レポートの概要】

- ・ 調査対象は92カ国、世界人口の84%以上をカバーしたグローバルレポート
- ・ 世界のIT技術者数は、推計2,136万5千人、国・地域別では1位米国、2位中国、3位インド
- ・ IT技術者の割合が高い北ヨーロッパ諸国、6カ国が世界トップ10位以内に入る
- ・ 世界のIT技術者数は、ヨーロッパ諸国が牽引し年間約3.35%ペースで伸長、日本は27位と伸び悩む

※本レポートでは、データを収集できた世界92の国・地域を対象に、国際労働機関（ILO）、経済協力開発機構（OECD）、国際連合教育科学文化機関（UNESCO）の公表データや、各国の統計データを用いています。出典元および地域分類については、本レポートの最後に記載しています。

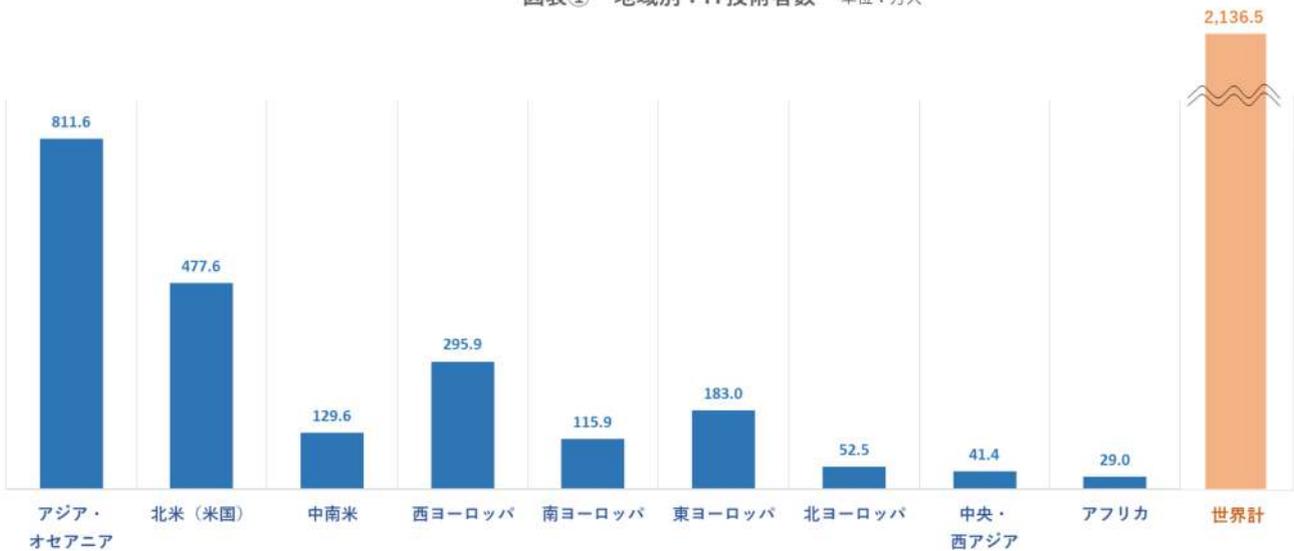
※情報通信業就業者の中で、国際標準職業分類の「専門職」、「技師、准専門職」に分類された人をIT技術者として算出しています。

■世界で働くIT技術者数は、推計2,136万5千人に

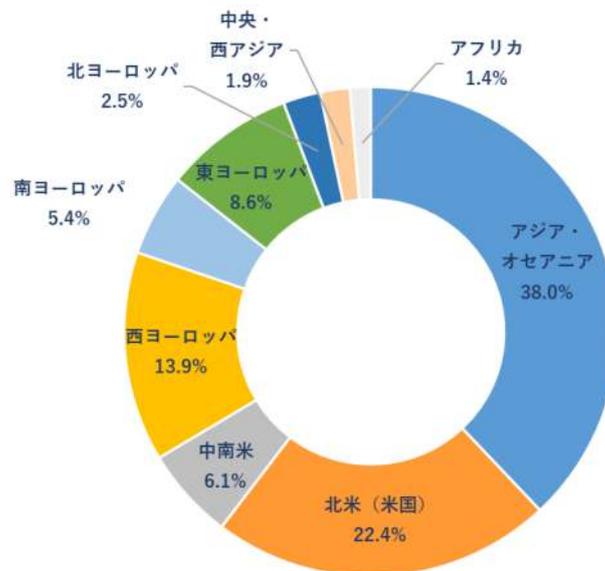
世界92カ国のIT技術者は、推計2,136万5千人となりました。地域別にみると、最もIT技術者が多いのは中国、インドといったIT大国を擁するアジア・オセアニア地域で、811.6万人となりました。次いで、477.6万人の北米（米国）、295.9万人の西ヨーロッパが続きます（図表①）。

この結果、世界のIT技術者の約4割が、アジア・オセアニア地域で就業していることがわかります（図表②）。また北米（米国）で就業しているIT技術者は、世界のIT技術者の2割強、ヨーロッパ全体のIT技術者は、世界の約3割を占めています。

図表① 地域別：IT技術者数 単位：万人



図表② 地域別：IT技術者数の割合



■IT技術者数トップは米国の477.6万人、2位中国、3位インド、日本は109万人で第4位に

各国のIT技術者数を国・地域別で見ると、米国がトップの477.6万人、ついで中国の227.2万人、インドの212万人と続きます。この3カ国にて、世界のIT技術者の約43%を占めており、IT大国として大きな存在であることがわかります。

なお日本は109万人で、第4位となりました。しかしながら、トップの米国の2割強、3位のインドと比較しても約半数に留まる結果となりました。

図表③ 国別のIT技術者数まとめ (トップ10位)

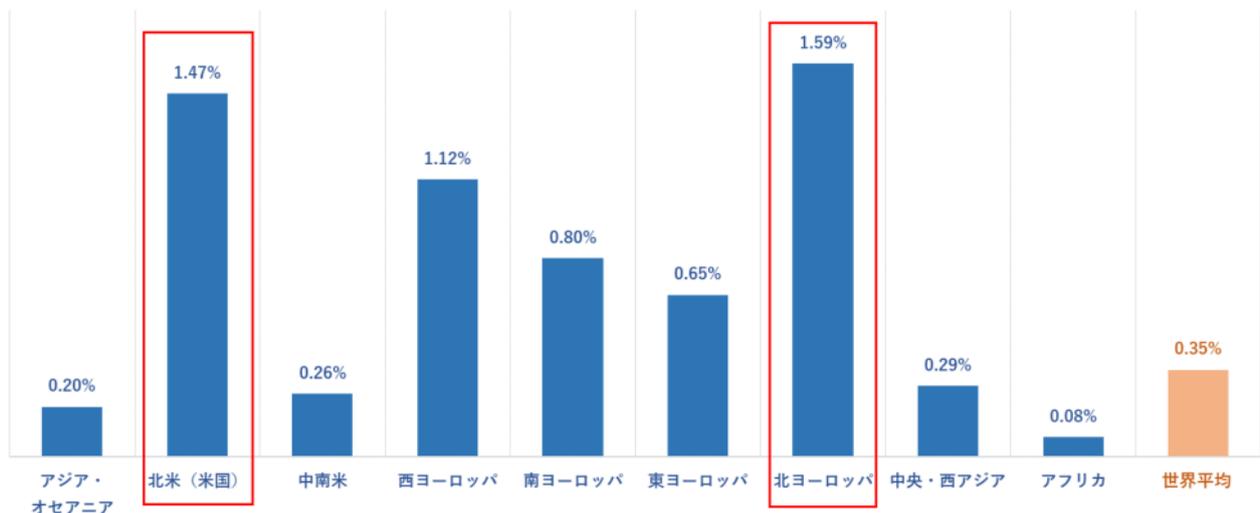
順位	国・地域	IT技術者数 (万人)
1	United States	477.6
2	China	227.2
3	India	212.0
4	Japan	109.0
5	United Kingdom	93.3
6	Russia	88.7
7	Germany	84.1
8	Brazil	75.7
9	Korea, Republic of	66.3
10	France	56.3

■IT技術者の割合が高い地域は、北ヨーロッパ、次いで米国

次に、全人口に占めるIT技術者の割合を地域別にみると、最も割合が高いのは北ヨーロッパの1.59%、次いで米国の1.47%、西ヨーロッパが1.12%と続きます（図表④）。

なお、地域別で最もIT技術者数が多いアジア・オセアニアは0.20%と、人口に占めるIT技術者の割合は低いことがわかります。今後各国のIT産業が成長することにより、IT技術者が多く生まれる可能性を秘めているといえるでしょう。

図表④ 地域別：IT技術者の割合



※IT技術者数が不明なベラルーシとカザフスタンは算出から除外

■IT技術者の割合が最も高い国はアイスランド、北ヨーロッパの国々が続く

IT技術者の割合を国・地域別に見てみると、トップがアイスランドの2%、第2位以下は、スウェーデン、エストニア、アイルランド、フィンランドと、ヨーロッパの国が続きます。注目すべきは北ヨーロッパ諸国で、トップ10に6カ国がランクインする結果となりました。

なお、IT技術者数において世界第2位、3位の中国とインドは、それぞれ67位、70位と、人口の多さが影響してか、IT技術者の割合は低い結果となりました。また日本は、0.86%の32位で、アジア圏では、韓国（12位）、シンガポール（22位）、香港（24位）に続く4位となりました。

図表⑤ 国別のIT技術者の割合（トップ10位）

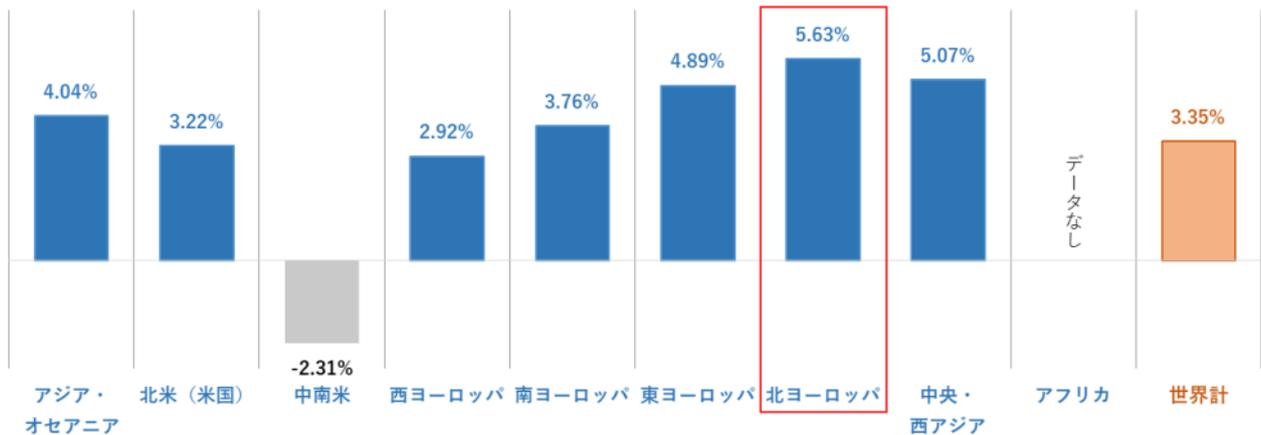
順位	国・地域	IT技術者の割合
1	Iceland	2.00%
2	Sweden	1.92%
3	Estonia	1.74%
4	Ireland	1.74%
5	Finland	1.67%
6	Israel	1.54%
7	Denmark	1.53%
8	Norway	1.51%
9	United States	1.47%
10	United Kingdom	1.41%
~~~~~		
32	Japan	0.86%
67	China	0.16%
70	India	0.16%

※IT技術者の割合は、小数点第3位を四捨五入し算出

## ■世界のIT技術者数は、年間3.35%の伸び、北ヨーロッパの伸びが目覚ましい

IT技術者数をデータが収集できる前年と比較し、人数ベースでの伸び率を算出したところ、世界のIT技術者数は年間3.35%増加していることがわかりました。これを地域別にみると、最もIT技術者数が伸びているのは北ヨーロッパの5.63%、そして中央・西アジア、東ヨーロッパと続きました（図表⑥）。北ヨーロッパは、IT技術者の割合が高いうえに、技術者の人数も大きく増えるなど、注目に値します。

図表⑥ 地域別：IT技術者数伸び率



## ■IT技術者数の伸び率が最も高い国は、ルクセンブルクとラトビア、日本は4.81%の27位

IT技術者数の伸び率を国別にみると、最も高いのがルクセンブルクおよびラトビア、そして3位がベルギーとなり、ヨーロッパ各国の伸び率の高さが目立つ結果となりました。

一方、IT技術者数トップ3においては、中国が8.59%の16位、インドが5.71%の22位、米国が3.22%の35位となりました。伸び率では上位ではありませんが、母数の規模からして、相当の拡大傾向であると言えます。なお、日本は4.81%で、世界平均である3.35%を上回ってはいますが、順位としては27位となりました。

図表⑦ IT技術者数伸び率（トップ10位）

順位	国・地域	IT技術者数増加率
1	Luxembourg	16.67%
1	Latvia	16.67%
3	Belgium	15.69%
4	Estonia	15.00%
5	Cyprus	14.29%
6	Slovenia	13.04%
7	Sweden	12.14%
8	Ecuador	11.11%
8	Macedonia	11.11%
10	Ireland	10.53%
~~~~~		
16	China	8.59%
22	India	5.71%
27	Japan	4.81%
35	United States	3.22%

※IT技術者数の増加率は、小数点第3位を四捨五入し算出

<調査に関する出典／備考>

1) IT技術者について

情報通信業就業者の中で、国際標準職業分類で「専門職」「技師、准専門職」に分類された人としています。

また、中国、インド、インドネシア、台湾、ニュージーランドの5カ国に関しては、IT技術者数を特定するデータを収集できなかったため、同地域の他15カ国における情報通信業就業者に占めるIT技術者の割合の平均値57.5%と同等にIT技術者が存在すると仮定して算出しています。

なお米国については、米国労働省労働統計局データより「Computer and Mathematical Occupations」と「Computer and Information Systems Managers」の合計としています。

2) 出典について

国際労働機関(ILO)、経済協力開発機構(OECD)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)の統計データをおよび下記を元に算出しています。

北米(米国)：米国労働省労働統計局、中国：「中華人民共和国国家統計局」データ、インド：NASSCOM, The IT Industry in India: Strategic Review、日本：「労働力調査」

3) 地域の分類について(略称にて記載)

アジア・オセアニア(20カ国・地域)：中国、インド、日本、韓国、インドネシア、フィリピン、ベトナム、台湾、パキスタン、タイ、イラン、マレーシア、バングラデシュ、香港、シンガポール、スリランカ、ミャンマー、カンボジア、オーストラリア、ニュージーランド/**北米**(1カ国)：アメリカ/**中南米**(14カ国)：ブラジル、メキシコ、アルゼンチン、チリ、ペルー、エクアドル、ボリビア、グアテマラ、ドミニカ共和国、コスタリカ、ウルグアイ、ホンジュラス、エルサルバドル、パナマ/**西ヨーロッパ**(9カ国)：イギリス、ドイツ、フランス、オランダ、ベルギー、スイス、オーストリア、アイルランド、ルクセンブルク/**南ヨーロッパ**(10カ国)：スペイン、イタリア、ポルトガル、ギリシャ、セルビア、クロアチア、スロベニア、北マケドニア、マルタ、モンテネグロ/**東ヨーロッパ**(10カ国)：ロシア、ポーランド、ウクライナ、ルーマニア、チェコ、ハンガリー、ベラルーシ、ブルガリア、スロバキア、モルドバ/**北ヨーロッパ**(8カ国)：スウェーデン、デンマーク、フィンランド、ノルウェー、ラトビア、リトアニア、エストニア、アイスランド/**中央・西アジア**(9カ国)：トルコ、イスラエル、カザフスタン、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、キルギス、アルメニア、カタール、キプロス/**アフリカ**(11カ国)：エジプト、カメルーン、アルジェリア、エチオピア、ガーナ、セネガル、モザンビーク、モーリシャス、ザンビア、ルワンダ、マリ

4) 本レポート詳細については、当社WEBサイトに連載として掲載しています。

URL：<https://resocia.jp/case> 連載グローバルレポート：「世界各国のIT技術者数」第1回～5回

< ヒューマンリソシアの海外ITエンジニア派遣「GIT (Global IT Talent) サービス」について >

世界各国から優秀なITエンジニアを採用し、国内企業に派遣するグローバルプロジェクト。世界40を超える国から700人以上を採用し、国内企業に派遣しています。日本語教育にて30年以上の実績をもつグループ会社のノウハウを活用し、ITエンジニアとして必要な日本語力を育成したうえで、顧客企業のITプロジェクトに派遣しており、海外ベースのITスキル、開発手法、発想、アイデアを「派遣活用」できることが特長です。

サービスサイトURL：<https://git.resocia.jp>

ヒューマンリソシア 会社概要

1988年創業以来、人材派遣、正社員紹介、アウトソーシングなどの幅広い人材サービスを全国28拠点で展開しています。グループ内の教育事業をバックボーンにしていることが強み。また、多様な雇用形態と女性・シニア・グローバルなど多様な人材を組み合わせ、最適な人材ソリューションを提供するとともに、求職者それぞれの働き方にあったキャリア形成を支援しています。 ※拠点数は2019年4月時点

●代表取締役： 御旅屋 貢 ●所在地： 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア1階
●資本金： 1億円 ●URL：<https://resocia.jp>

<本件に関するお問い合わせ> ヒューマンリソシア株式会社 広報担当：吉田 まで
Tel：03-6894-3317 / Fax：03-6846-1135 / E-mail：resocia-pr@athuman.com

<リリースに関するお問い合わせ> ヒューマングループ 広報担当：外川 まで
Tel：03-6846-8002 / Fax：03-6846-1220 / E-mail：kouhou@athuman.com